

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



笑顔いっぱい

～3人で仲良く記念撮影!～
(紹介は12ページ)

2017.8
No.
524

次代の農業に

夢と希望を

新任のごあいさつ

代表理事組合長 川上和則

組合員の皆様におかれましては作物によっては収穫期に入り、大変お忙しい毎日をお過りのことと存じます。

この度、小野寺俊幸前組合長（現会長理事）が、JJA北海道中央会の副会長に就任いたことに伴い、後任として代理理事組合長の大任を仰せつけられました。

小野寺前組合長におかれましては、平成3年の理事就任を経て、平成12年より代理理事組合長として、17年4ヶ月という長期にわたり、JJAの代表として農家経済の安定とJJA経営基盤強化に大きく貢献されましたことに心から敬

意を表すとともに、小野寺前組合長の業績を踏襲し、本町農業をさらに発展させるため役職員一丸となり鋭意努力を重ねていく所存であります。

また、小野寺前組合長には、北海道農業の発展に尽力して頂きながら、今後も引き続き会長理事として当JJA運営にご尽力いただきたいと存じます。

さて、近年の農業情勢は激動ともいえるべく大きな流れの中で、解決を急がなくてはならない課題が山積みとなつております。

昨年、国会にてTPP批准が承認されたものの、米国の

ドナルド・トランプ大統領就任と同時に米国がTPP離脱を宣言、日米二国間交渉を表明するなど、TPP以上に農畜産物などの市場開放を要求していく可能性がありますし、EUとのEU-TPPの大筋合意の動きなど、我が国の農業やJJAにとって先行きの見えない情勢となっております。

国内情勢では農業改革として発足した規制改革推進会議の農業ワーキンググループによる全農改革や農協改革が提言され、信用事業の農林中金への譲渡やクミカン制度の廃止など、その後、見直されたことはうえ看過できない提言がされたことは事実です。

生命の起源である食料を生産する農業がこうした世界情勢や国内情勢などでその存続が脅かされることがないよう、JJA、組合員はこれらに立ち向かっていかなければなりません。

このような情勢において、消費者が求めめる、安全で安心して食べられるクリーンな食料の生産・農畜産物に附加価値をつける方策、地域農業を担う担い手の育成の確保、ゆとりと潤いのある農村環境づくりなど、連合会・関係機関と連携を密にして、実現にむけて努力して参ります。

また近年、国内では局所的異常気象が各地で頻発し、農業分野では非常に甚大な災害を受けております。

本町においては、昨年8月中旬に発生した台風の相次ぐ上陸や接近により豪雨に見舞われ、常呂川流域を中心とした広範囲にわたる冠水・浸水、さらに福山・田吉地区では堤防が決壊するなど、経験のない災害を受けたことは記憶に新しいところです。

常呂町は長年、水害との戦いを余儀なくされ、その都度迅速な対処で被害を最小限に食い止めてきましたが、こうした大規模災害が当たり前の変革に耐えうる「足腰の強

い農業」を目指すことも忘れてはいけません。

消費者が求めめる、安全で安心して食べられるクリーンな食料の生産・農畜産物に附加価値をつける方策、地域農業を担う担い手の育成の確保、ゆとりと潤いのある農村環境づくりなど、連合会・関係機関と連携を密にして、実現にむけて努力して参ります。



も早く恒久的な水害対策を実現させなければなりません。これら河川の水害対策については、昨年の災害を受け、排水機場の整備を国や北海道に要請しております。早急な設置で、安心した営農ができるよう努力したいと考えます。

一方、作物体系では離農による跡地の取得で、戸々の経営面積が増えるたびに、小麦などの機械作業が主導の作物への作付けが増え、輪作体系の崩れた組合員も見受けられます。

輪作体系を維持するための適正規模での作付的重要性を一度考え、有機物施用などと組み合わせた「TOKORO型クリーン農業」の実践を改めて強化し、組合員全員が喜べるような豊穣の秋を迎えることを目標にしていきたいと思います。

常呂町の基盤整備は、管内でも特に進んでおりますが、戸々の農家のバラツキがまだあるように思います。先にも述べたとおり、水害の多い地域ですので、排水性の改善に

向けた個々の取組も重要なではないかと思います。

昨年、第8次農業振興計画の実践がスタートし1年が経過しました。

結集の力で築く「魅力あふれるひの農業」と題したように、組合員の皆様と役職員の英知を結集し、次代の農業に夢と希望があふれる農業・農村づくりを実践していきます。

情勢の変化に耐えうる力強い農業基盤、経営基盤の強化、未来を担うリーダーの育成、生産力強化や販売戦略など、本当に進んでおりますが、戸々の農家のバラツキがまだあるように思います。先にも述べたとおり、水害の多い地域ですので、排水性の改善に

川上組合長略歴

昭和35年4月生まれ 57歳

役員経歴

平成12年4月～

JAところ理事

平成21年4月～

JAところ副組合長理事

平成29年7月～

JAところ代表理事組合長

じ、北見市常呂町の農業が心も身体も豊かになるよう進めてしまいたいと考えます。まずは、今年の営農が無事に終わり、組合員全員が喜べるような年になることを願つてやみません。

結びに、組合員の経営基盤の安定と、JAの経営基盤強化を実現するためには、組合員や職員の皆様の協力が重要となりますので、特段のご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ、就任のご挨拶と致します。

JA TOKORO FARMERS FESTA 2017

第12回組合員交流会

———— 今日はみんなで天気祭りだ！ ——

6月24日、第12回組合員交流会『JA TOKORO FARMERS FESTA 2017～今日はみんなで天気祭りだ！～』がJA玉葱選別工場特設会場で開かれました。

組合員交流会は、青年部が企画立案の中心となりJAと共に集団長会、女性部、4Hクラブの協力のもと「管理作業が一段落した時に、地域や世代間を超えた交流を図ろう」と開かれたものです。当日はあいにくの天気で、倉庫内での開催となりましたが、組合員家族、関係機関、職員、合計439人が参加し交流を深めました。

所尚玄青年部長の開会挨拶、小野寺俊幸会長の主催者挨拶、来賓の武部新衆議院議員、船橋賢治、塚本敏一両北海道議会議員、辻孝宗常呂自治区長の祝辞を頂いた後、羽石遼祐4Hクラブ会長の乾杯の音頭で交流会はスタートしました。

縁日コーナーでは、綿菓子やポップコーン、餅つきコーナー、輪投げ、ストラックアウト、バルーンアートを。また株式会社ヤヨイサンフーズからは様々な揚げ物、アイスクリームが無料提供され、とても好評でした。また、4Hクラブ員による豪快なジャンボ鉄板焼きそばが振る舞われました。

青年部が考案した地区対抗競技『肥料積みかえりレー』では、熱戦が繰り広げられました。競技内容は肥料20袋の積み替えのタイムを競うもので、一位のタイムは3分4秒11と二位との差わずか5秒の接戦で日吉地区が優勝し、賞金とトロフィーが贈られました。

続いてパフォーマーのカーム黒川によるジャグリングショーが行われました。滅多にお目にかかるない大道芸に子どもたちだけでなく大人も釘づけになっていました。

お楽しみ抽選会では、食料品や雑貨の他、高圧洗浄機やスチームトースターなど豪華賞品も用意され、目玉商品抽選の際は会場からひときわ大きい歓声が上がりいました。

最後は、川上組合長の一本締めで交流会は閉会となりました。

農作業の合間のひとときに参加者さんは交流を深め、間近に控えた収穫作業前に英気を養い、交流会は大盛況の内に終了しました。

企画・運営にあたった青年部員をはじめ、女性部・4Hクラブの皆様、大変お疲れ様でした。



武部議員から祝辞



所部長による開会挨拶



4Hクラブ・羽石会長による乾杯



小野寺会長による開会挨拶

4Hクラブ ジャンボ鉄板 焼きそば



女性部
焼きそば配布



わたあめ
コーナー



ストラック
アウト



餅つき
コーナー



輪なげ
祭



バルーン
アート

コロッケ&
アイスクリーム



ゴルフと焼肉で交流を楽しむ

～玉葱振興会 夏季交流会～



開会挨拶をする
清井会長

尚、パークゴルフ大会の結果は以下の通りです。

男性の部（敬称略）	
優勝	近藤圭介
2位	那須久雄
3位	中島稔

女性の部（敬称略）	
優勝	近藤香奈子
2位	江田緑
3位	齋藤てつ子



●笑顔で焼肉を囲む皆さん

常呂町玉葱振興会（清井俊幸会長）は7月3日、森林公園パークゴルフ場で夏季交流会を開き、会員と家族、普及センター、併せて56人が参加しました。

曇天で寒さを感じる当日、清井会長の開会挨拶後、プレーが開始されました。

それぞれが優勝を目指して楽しみながらコースを回り、親睦を深めました。

パークゴルフ大会終了後は森林公園焼肉ハウスに移動し、引き続き懇親会を行いました。懇親会では表彰式が行われ、上位入賞者に豪華景品が贈呈され、健闘を称えあいました。



●景品と一緒に記念撮影

尚、結果は以下の通りです。
パークゴルフ大会終了後は森林公園焼肉ハウスに移動し、引き続き懇親会を行い、今後の疫病・軟腐病の予防的防除を徹底し、豊穣の秋を迎える事などを確認しました。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



狙いを定める松井正敏さん

仕事の合間で交流を深める

フィールド
デー開催



開会挨拶をする
清井会長

尚、パークゴルフ大会の結果は以下の通りです。

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
優勝	野村正代
2位	藤澤志乃
3位	山内ゆり子
4位	鈴木りな
5位	小林雪枝



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

団体の部	
優勝	岐阜4
2位	岐阜2
3位	岐阜5

男性の部（敬称略）	
優勝	林孝広
2位	鈴木洋平
3位	久世和徳
4位	高橋金吾
5位	内藤靖彦



開会挨拶をする
清井会長

尚、結果は以下の通りです。

女性の部（敬称略）	
-----------	--



●(写真上)きれいに並べられた常呂町農産物
●(写真下)小豆製品の販売風景

全道の道内産食材を生産者が消費者に説明しながら直接交流する産直市「北のめぐみ愛食フェア2017」が6月21日から23日までの3日間、札幌市道庁赤れんが前で行われ、昨年に引き続き当JA生産組織（小豆生産組織、麦生産部会、玉葱振興会、二ノ二耕作者部会）の4組織で21日、22日の両日参加して参りました。

JAところ年金友の会（佐藤国昭会長）は6月3日、常呂町屋内ル場で第45回を迎える「ゲートボール大会」を開催されました。中で一番賑わっていました。消費者と直接交流することで真摯な意見やニーズを聞くことができ、貴重な情報交換の機会となりました。また自達が生産した作物を自信を持って販売とPRする事が出来たことは、大変有意義な販売促進活動となりました。今年も多くの方々に常呂町の農産物の魅力を存分に伝えることができました。今後も常呂町の農産物をおおいにPRしていきたいと思います。

北のめぐみ 愛食フェア2017!!

パークゴルフ

JAところ年金友の会

ゲートボール

佐藤会長より「日頃の練習の成果を発揮して会員間の親睦を深めていただきたい」との開会挨拶でした。

この日はあいにくの曇天でしたが、参加者が開始されました。

JAところ年金友の会内での開催となりました。が、審判の元気の良い掛け声が響き、選手のハツラツとしたプレーが見られました。

常呂町屋内ル場で第45回を迎える「ゲートボール大会」を開催されました。20人の参加により開きました。

JAところ年金友の会（佐藤国昭会長）は6月3日、常呂町屋内ル場で第45回を迎える「ゲートボール大会」を開催されました。

JJAとこ

ろ年金友の

会（佐藤国

昭会長）は

6月3日、

常呂町屋内

ル場で第45回を迎える「ゲ

ートボール大会」を開催されました。

4チームの総当たり戦で8試合が行われ、4時間にも及び戦いの結果、岩井義郎チームが接戦を勝ち抜いて優勝を勝ち取りました。

優勝 岩井義郎チーム
(岩井義郎、道端智子、大江隆晃、清井政幸、林敏洋)

JAところ年金友の会パークゴルフ大会が7月6日、常呂町森林公園パークゴルフ場で、会員34人の参加により開かれました。

男子の部(敬称略)

優勝	橋本	典雄(89)
2位	岩井	義郎(92)
3位	藤澤	由一(97)

女子の部(敬称略)

優勝	村岡	紀子(98)
2位	道端	智子(101)
3位	村上加代子	(101)



●(写真上)久世登百子さんのホールショット
●(写真下)上位者の皆さん



● 大江隆晃さんの正確なショット

No.1

GAPってなに?

◎いま注目されてるGAPについて、今月号から6回の予定で掲載いたします。

『GAPってなに?』

3年後に控える東京五輪選手村の食材調達基準として新聞などで報道され、いま注目を集めているGAP。「それ

つて自分たちの営農に関係あるの?」と思っている方も多いかもしれません。ではGAPとはじのようなものでしょうか?

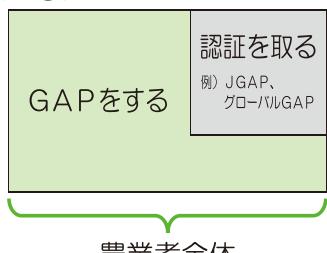
見える化した工程管理の内容例と日頃の取組	
食品安全	食中毒・残留農薬・異物混入の防止 (例)ドリフト注意の対策
環境保全	適正な廃棄物の処理、鳥獣被害対策 (例)廃プラ回収の実施、鹿柵ネットの敷設
労働安全	農作業事故の防止 (例)機械点検作業時のエンジン停止 人間ドックの定期受診

農業者にとって …自分の経営を管理し、品質管理するための仕組み
買い手にとって …信頼性を評価するための仕組み

かは問いません。(下図②)
「GAPをする」とは、農業者がGAPの活動又は取り組みを自ら実施することをいい、JGAPなど第三者からの認証を取得しているかどうか

『GAPをする』

(図②)



「GAPをする」とこと
「認証を取る」ことは分けて考える

「持続的発展を目指したい」「より安全なものを生産したい」と多くの農業者が取組始めています。次回は、日頃皆さんに行っている取組を通して、具体的に「GAPをする」とはじめのようないとか、事例をご紹介します。

これら見えない価値を「見える化」し、農産物の安全性を確保するための生産工程管理のことを行っています。(左上図①)

農産物を仕入れる側も、信頼ある産地から農産物を調達し、自信を持つ消費者のもとへ届けられることが求められています。その点で買い手と売り手の意見が一致することとなり、私たちの営農活動への良い影響も考慮されます。

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとってかかる深いJJAの販売事業について考えてみましょう。

JJAの販売事業は、組合員が

JJAに自ら生産した農産物の販

売を委託する「委託販売」の形

が主力になっています。JAは

委託された農産物を販売し、手

数料を差し引いた代金を組合員

に渡します。委託販売は同じ種

類の農産物をJJAの地域全体か

ら集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上の一環で、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進める事ができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階になり、次第に販売力は強化されています。

こうした委託販売は米や生乳

など全道規模で大量に取り扱う農産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかかり、年度をまたぐこともあるといつたデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時刻で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々の価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しうのが現実です。農産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を開拓していく、これがJAの販売事業のるべき姿ではないでしょうか。



Vol. 7

早取肥料共同自己引取を実施

～JAといひの青年部～

(所尚玄部長)は、6月29日～7月11日までの期間、早取肥料の共同自己引取りを実施し、肥料の受入れやパレットへの積み替え作業を行い、各生産者への自己引取りを実施しました。

この事業は、青年部による肥料推進活動の一環として昭和60年から行われている歴史の長い取り組みです。自己引取りでは青年部各支部単位で行い、総重量2,300tもの肥料が各戸へ引き取られました。



日吉地区の肥料積み替え

射撃講習会で快挙

～土田貴千さん、清尾雅人さんともに入賞～

結果は△クラス(ジエンタルマン・上下銃の部)で土田貴千さんが準優勝、清尾雅人さんが6位と、常呂部会参加の2人ともに入賞しました。



散弾銃で見事、クレーに命中

北海道獵友会北見支部主催の第5回担い手発掘安全射撃講習会(競技会)が6月25日、北見国際クレー射撃場で開催されました。当日は雨が降る中、富丘地区の土田貴千さん、豊川地区の清尾雅人さんを含む52名が参加しました。当日は射撃大会の見学や射撃シミュレーター体験、エゾシカ力

営農を楽しむことが重要

～北見地区新規就農者研修交流会～

北見市、訓子府町、置戸町の就農3年以内の若手農業者を対象とした北見地区新規就農者交流研修会が6月30日、JAきたみらいセンター事務所会議室で行われ、新規就農者や関係者など45名が参加し、当JAからも3名の新規就農者が参加しました。

この研修会は、北見地区農業振興連絡協議会が主催となって、農業の知識研鑽や情報交換などを図ることを目的に開催されています。

研修会では北見市農林水産部の武田雅弘部長から開会挨拶の後、講演会が行われました。

今年の講演会は、オホーツク農協青年部協議会の米森弘会長を講師に招き、「JA青年部の活動と新規就農者に期待すること」と題し講演しました。米森会長は、平成14年に就農、3年目から自分で営農を行い、農業の面白さを実感したこと、自身が体験した失敗や自然災害、趣味などを話され、また組織活動を通して感じたことや大切なことなど、オホーツクJA青年部の取り組みについて紹介されました。米森会長は、新規就農者に対し「ま

ずは親と仲良くする」と、仲間同士で情報共有していくこと、組織活動に積極的に参加すること、自分で勉強すること、そして営農を楽しむこと」とメッセージを伝えました。研修会終了後は交流会が開催され、他地区の新規就農者と親睦を深めました。



講演会後に記念撮影

進路決定に役立てる

常呂高校職場体験学習

北海道常呂高等学校職場体験学習が6月21日～22日の2日間の日程で実施されました。

今年は、同校2年生の須藤彩希さんが当JAを訪れ、1日目は資材課で商品の品出しなどを体験しました。2日目、金融共済課で業務実習に取組む須藤さんは「金

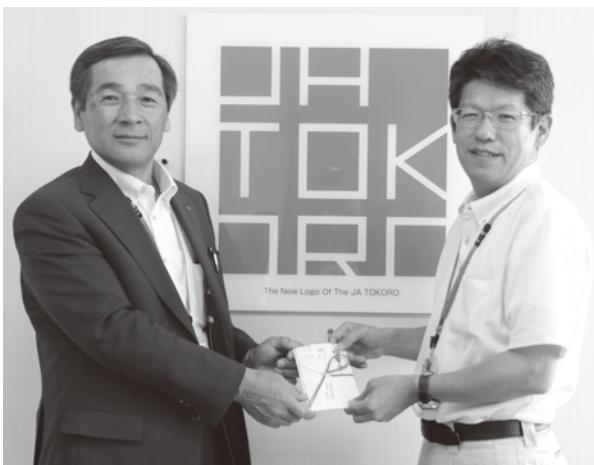
融共済課での実習では、現金を数えたり伝票の処理業務を体験しました。初めての事ばかりだったので間違えないよう気を付けました。進路については考へている最中ですが、職場体験は良い勉強になりました」と体験学習の感想を述べてくれました。

昨年8月に連続して北海道に上陸した台風によって、北海道各地で甚大なる被害を受けましたが、全国及び全道の農協・連合会で働く職員の方々の義援金が寄せられました。特に被害の大きかった才木一ツ・十勝の労働組合に対

全国・全道の農協で働く仲間から義援金を農協へ

し分配され、常呂町農協労働組合にも寄贈されました。

この度、その義援金を農家組合員のために労働組合から農協に対し寄贈することとなり、7月4日に田渕執行委員長から川上組合長へ直接手渡されました。



● 義援金を手渡す田渕執行委員長と受け取る川上組合長(右より)



● 金融共済課の業務実習に取り組む須藤さん

今では、運動不足解消のため野球をやつている感じですが、33年間ずっと続けてきた大好きな野球は体の動く限り楽しんで続けていきたい

野球は楽しいスポーツだと思いました。共同給油所へ転職した時も、休日は北見のチームの朝野球に参加し、青果事務所へ移動になってからは農協野球部に所属し、今でも野球を楽しんでいます。



● 藤澤係長愛用のグローブ

「大好き野球」

生産部 施設コントラ課 係長

藤澤

和弘

J A マンコーナー

発信No.43

J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

第5回理事会報告

- 代表理事組合長の選任について**
川上副組合長を代表理事に選任することで決定されました。
- 信用担当委員長及び担当委員の選任について**
江田理事を信用担当委員長、羽石理事を担当委員に選任致しました。
- 常勤役員の事務引継ぎに係る立会人の選任について**
小野寺理事、猪野間理事を立会人に選任致しました。
- 理事順位の変更について**
原案の通り変更することで承認されました。
- 給与規程の一部改正について**
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 就業規則の一部改正について**
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 平成28年度甘味資源作物等産地確立緊急対策事業の発注方法について**
原案の通り指名競争入札で発注することで承認されました。

- 固定資産の取得について(計画外 1,000万円以下)**
次の固定資産を取得することで承認されました。
 ○名称 土佐公園既存物撤去及び造成工事
 ○事業費 9,800千円
 ○業者 (株)円輪建設
- 畜産クラスター機械導入事業に係る再貸付について**
原案の通り再貸付することで承認されました。

〈報告事項〉

- 常呂町産業振興公社決算報告について
- 株式会社常呂町産業振興公社の代表取締役社長の選任について
- 内部監査報告
- 平成29年度コムギなまぐさ黒穂病に係る対応について
- 納税猶予の保証解除について
- 平成29年度 組織・地域リーダー研修「夢さがし塾」の実施について
- 農協林の伐採について
- 職員の採用について
- 平成29年度労働組合執行体制について
- 農業委員会報告について

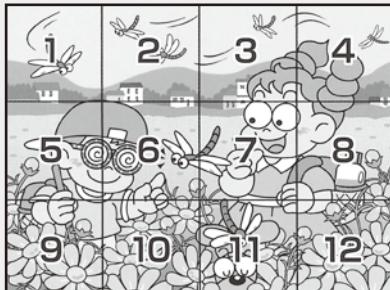
行事予定表

8月1日(火)~8月31日(木)

8月 1日(火)	聖徳太子奉賛会	8月21日(月)	第2四半期調査 ~25日
8月 4日(金)	JAところ子ども料理教室	8月25日(金)	第7回定例理事会
8月11日(金)	山の日	8月27日(日)	農休日
8月15日(火)	お盆休み	8月31日(木)	資材課店舗棚卸
8月16日(水)	お盆休み		



まちがい探し



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、鮨の安さんお食事券をプレゼントします。

先月の当選者・解答

7月号のクロスワードパズルの答えは「カブトムシ」でした。
抽選の結果、次の方々が当選しました。おめでとうございます。
小原 尊琉さん(土佐) 遠藤 蒼依さん(福山)
※()内は地区名です。

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。

読者の声

★クロスワードが楽しみです！

(土佐地区・小原 尊琉さん)

★どんな記事が載るのかいつも楽しみです！

(匿名希望)

農業を担う青年たち No.3

※昨年度の新規就農者の皆さんを先月号に引き続き紹介致します！

○就農について（きっかけ・今後の抱負）

農大を卒業して3年間、一般職で働いてから帰ってきて就農する計画でした。

○就農から1年経ち振り返って

就農して1年目は近年稀に見る大災害で大変な不作の年になりました。これからの農業人生の中でも厳しい経験ができたと思うので良い事も悪いことももっと経験して経営に活かしたいです。

○1日（仕事）が終わってからの楽しみは？

映画を鑑賞すること。

○休みの日にやっている事・したい事は？

車でプラプラすること、カフェでのんびりすること。

○趣味・特技はありますか？

ボード・ダンス・カラオケ・映画鑑賞、特技は運転とカクテル作り

○理想の女性像は？

ポジティブで明るい人、一緒にいると落ち着く人

○両親からの一言！

仕事もだいぶん覚えて多さに驚いているかもしれないが何事もあきらめないで、健康に気をつけて頑張って欲しい。



東浜地区

林 俊文さん

〈父：健志さん〉 (24歳)

○就農について（きっかけ・今後の抱負）

農業という仕事について興味があり、実家が農家であるということがきっかけです。もう36歳なのでとにかく頑張ります！

○就農から1年経ち振り返って

トラクターの運転など、とにかくすごい疲れました！

○1日（仕事）が終わってからの楽しみは？

ご飯を食べること。

○休みの日にやっている事・したい事は？

農機具などの機械整備

○趣味・特技はありますか？

木を切ったり、庭を綺麗にすること。

○両親からの一言！

お世話になります。



岐阜地区

吉岡 大輔さん

〈父：正人さん〉 (36歳)

●編集後記

- 収穫時期に差し掛かり、徐々に忙しくなってきます。
- 急ぐ心が事故のもとになります。機械を点検する際には、確實に停止したのを確認してから作業を行いましょう。
- 先日、網走で行われた花火大会に行ってきました。残念ながら濃霧で見ることは出来ませんでしたが、常呂もお盆には花火があがりますね。蚊に刺されるのを覚悟して見に行きたいと思います。

《営農企画課：広報担当》

笑顔いっぱい

3人で仲良く記念撮影！

今月の表紙は、岐阜地区の片岡由貴奈さん(12)と、おじいちゃんの勝美さん(84)、おばあちゃんの智恵子さん(84)です。

今年から中学に通う由貴奈さんは、吹奏楽部に入部。この日、夏休みにも関わらず、午後から部活と、日々忙しく過ごしているそうで、在宅中に3人で撮影させていただきました。

そんな由貴奈さんに、勝美さんは「すくすく成長してもらえばそれでいい」と語っていました。